

平成30年5月8日

## お知らせ

担当課：後楽園事務所  
(公益財団法人岡山県郷土文化財団)  
担当：小野・小林  
内線：4653  
直通：086-272-1148

### 新緑の佳景<sup>かけい</sup>を藩主の気分で楽しむ 初夏の後楽園「延養亭<sup>えんようてい</sup>特別公開」を行います

後楽園では、江戸時代に藩主の居間として使われていた、通常は非公開の建物「延養亭」を公開し、主室からの新緑とサツキが美しい初夏の庭園の眺めと、隣接する茶室「臨漪軒<sup>りんいけん</sup>」の天井画をお楽しみいただきます。

本件については、岡山県政記者クラブにも本日発表します。

## 記

### 1 概要

延養亭は江戸時代に藩主の居間として使われていた建物で、後楽園は本来、延養亭からの眺めが最も美しくなるように作られました。

現在の建物は、戦災後、当時の一級の技術と材料で復元されたもので、通常は非公開とし、5月及び10月の一定期間のみ特別公開を行っています。

特別公開では、延養亭の室内の見学とそこからの景色、そして隣接する茶室「臨漪軒<sup>りんいけん</sup>」の天井画をボランティアガイドの解説でお楽しみいただきます。

### 2 公開日時

期間：平成30年5月21日(月)～27日(日)

時間：①9時30分～ ②10時20分～ ③11時10分～

④13時～ ⑤13時50分～ ⑥14時40分～ 以上1日6回

- ・解説と自由見学で20分程度
- ・23日(水)は、午前の部(①～③)のみ実施。
- ・24日(木)は、①～④、⑥のみ実施。
- ・26日(土)と27日(日)は、15時30分～の回を追加し、全7回実施します。
- ・21日(月)、24日(木)及び25日(金)は、「岡山後楽園能舞台復元60周年記念事業」の一環として、併せて能舞台も公開します。

裏面あり

### 3 参加料

200円（別途、後楽園の入園料が必要です。高校生以下は入園無料です。）

### 4 定員及び参加方法

各回とも15人で、当日参加もできますが、事前の予約が優先です。

（事前予約）参加希望日の前日までに、電話で後楽園事務所にお申し込みください。

受付時間：9時～17時

（当日受付）当日開始時刻までに延養亭入口でお申し込みください。

※ ただし予約優先とし、定員になり次第締め切ります。

### 5 問い合わせ・申し込み先

後楽園事務所

住 所：岡山市北区後楽園1-5

電 話：086-272-1148

### 6 その他

- ・後楽園の築庭には「借<sup>しゃっけい</sup>景」という技法が使われており、後楽園から東に見える操山が、庭の景色の一部として取り入れられています。岡山市の条例により、建物の高さを制限することで延養亭からの景観を守っています。
- ・茶室臨漪軒<sup>りんいけん</sup>は天井に龍の画が描かれていたことから「龍の間」と呼ばれており、現在の画は倉敷市出身の画家池田遙<sup>ようそん</sup>邨が描きました。
- ・室内での三脚使用は不可です。
- ・画の現物保護のため、臨漪軒方向に向けての撮影は禁止です。